レッスン：PYR No.27

テーマ：シンボルの2つの意味

PYR27/KE05/05/2/1/05

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　前のレッスンでは最初の転生からそれに続く転生、そして最後の転生まで、つまり様々なサイクルにおける多くの経験の結果として自己実現に到達するまで人間に伴うシンボルについて話しました。

　私たちにはこのシンボルがあり、それは私たちの状態の周囲にあり、また私たちはその中におり、それは非常に大きいので五芒星という現在のパーソナリティーに伴うシンボルもその中にあります。

　五芒星、及びこのもう一つのシンボルは現在のパーソナリティーに伴っていると前に述べました。しかしそれらはシンボルの2つのステートにあると述べました。

　最初のステートでは五芒星は上から下への天の体を意味します、それはLifeのスパークの体です…このLifeのスパークが実存の諸世界にあろうとも、存在の諸世界にあろうとも。それは自己実現した現在のパーソナリティーが自己実現のステートのなかに留まるとするなら、そのときに使用することになる体です。

　この五芒星が象徴するもう一つのステートは、現在のパーソナリティーが無知の諸世界に入り、Lifeの本質を表現していない二元性の諸世界にいるステートです。このステートは最初のサイクルから2番目のサイクルまで続きます。

　無知のステートでは五芒星の頂点は下向きになっており、それは人間が地上で下にフォーカスしていることを象徴します。そしてどの方向にフォーカスしようともそれは地のエレメントの方に向いています。これが1番目と2番目のサイクルにいる状態です。

　3番目のサイクルではどうでしょうか？五芒星は下向きでしょうか？それとも上向きの五芒星で、Lifeのスパークの体を意味しているでしょうか？答えはノーです。3番目のサイクルでは、現在のパーソナリティーは3番目のサイクルを完了して、もっとも重要な祝福であるロゴスご自身によって与えられる洗礼を体験することを目指します。ですから、4番目のサイクルの中で数回の転生の後に、エゴの様々な側面を殺すまたは除去することができるようになります。

　それでは魂の体を意味する五芒星はいつその本来の姿勢に戻るのでしょうか？それは自己実現の時であり、それ以前ではありません。現在のパーソナリティーが人間の一つのモナドセルフになる時です。このモナドはまだ魂(Soul)ではありません。それはまだ魂からのスパークです。しかし、魂のスパークは人間であり、今や現れとしてこの体を使用しています。つまり、創造の元型、創造のセルです。

　そこにはどれだけのセンターがあるのでしょうか？この骨組みに依存している体はどれでしょうか？それはサイコノエティカル体です。もし自己実現した現在のパーソナリティーがブレーシス（＊神の意志）を現すなら、それはサイコノエティカル体を後にして、Lifeのスパークのもう一つの体を使用します；それは即座に生じ、その反対も即座です。自己実現したモナドセルフはそのステートに留まらない、なぜならその時にはどんな目的にも奉仕することがないから、と前に述べました。

Page2

自己実現した現在のパーソナリティーの唯一の目的は、自分の波動を下げ、再びサイコノエティカル体を使用することです。そのサイコノエティカル体は完全に再形成されており、他の同胞の人間達とコミュニケートすることができ、アガピを与えることができます。それは現在のパーソナリティーから与えるのではなく、主のアガピの中からアガピを与えるのです。そのパーソナリティーはサイコノエティカル体、または肉体を使用していますが、それ自身から表現されるLifeのクオリティー、質は歪んでいません。

　名前を持ったそのパーソナリティーが主のアガピを現す時には、名前は背後に置かれます。特に相手の痛みを軽減するためにヒーリングという現象を与えたり、相手のために努力を提供するときには。

　さて、それをするために、相手の痛みを軽減するために、誰かの病気を癒すために現在のパーソナリティーが気持、感情を現すことは必要でしょうか？勿論です、そのパーソナリティーはサイキカル体とノエティカル体を持っており、相手が感じていることを感じるために、何であれ相手が気持として表現しているものを感じるために、あるいは相手が考えている仕方を感じるために気持を使用します。しかし、その気持・感情と思考は一つのセンターの完全なコントロール下にあります…そのセンターはLifeのスパークのその体で唯一活性化されています。その体には他のセンターは必要ありません。骨組みはありますが、そのセンターはLifeの本質であり、他のセンターは必要ありません。

　ですから、ハートのセンターが他のセンターと共にそのセンターなのです。そうです、気持も思考もLifeのスパークのコントロール下で存在します。

　これが成長のプロセス下で自己実現が達成された時の現在のパーソナリティーのステートを示す五芒星です。そしてこれが五芒星ともう一つのシンボル、つまり14芒星との関係なのです。

　しかし、五芒星と14芒星は他のものをも象徴しています。五芒星はさらに他にも2つのステートを象徴します。上から言うと、5つの真の感覚；2番目は影としての五感です。

　さて、影の感覚はどこにあるでしょうか？それは1番目と2番目のサイクルです。3番目はどうでしょうか？2番目のサイクルでは、現在のパーソナリティーは地のエレメントから抜け出すために努力すると言いました。もしこれが達成され3番目のサイクルに入ると、そこではどのような努力が行われるのでしょうか？影の感覚ではなくて真の五感を使用して表現すること、そして真の五感を使用する3番目のサイクルをマスターすることです。現在のパーソナリティーは火の洗礼という大きなミステリー（＊神秘）を経る準備ができます。それはロゴス自身によって行われ、4番目のサイクルに入るとその準備が整います。そこでは超意識的に自己を表現し、エゴの様々な側面を殺します。ですから、この五芒星のシンボルがあります。

　さて、もう一つの14芒星があるといいましたが、それは現在のパーソナリティーが通らねばならないあるステージを意味します。そして小さな14芒星は小さな五芒星と共に太陽神経叢にあります。この14芒星と前に述べたその中に自分がいる大きな14芒星の間には違いがあります。大きな方は最初の転生から自己実現に到達するまでのものですが、小さな方は各転生毎新しいものが与えられます。それは誕生の時に、現在のパーソナリティーが呼吸を始める時にスタートし、現在のパーソナリティーの二元性の諸世界におけるその現れが終わる時に、終わります。

　さて、大きな14芒星は現在のパーソナリティーが自己実現に到達したらどうなるのでしょうか？それはもはや終わりでしょうか、それともLifeが純粋なLifeを表現するというような新しい役目を与えられるのでしょうか？純粋なアガピ以外の何もありません。そしてこの14芒星は自己実現した現在のパーソナリティーにそのような能力を与えます。アガピの現れを通じて同胞の人間達の痛みを軽減し、癒すことができます；しかし、同時に義務があります。なぜなら原因・結果の法則の介入があり、その結果が生じる必要があるので、この法則を平衡、バランスへともたらす必要があります。

Page3

これはどのようにして生じるのでしょうか？アガピを表現している人、痛みを抱えている誰かをアガピと共に抱きしめている人、しかし純粋なアガピがそれを背負うことでしょう。ですからその彼または彼女はその誰かが経験している結果を体験しなければなりません。それは同じ量でしょうか？以前のレッスンで述べましたが、それが起きるためには肉体が必要であると言いました。主イエスが人間に向けたアガピのために十字架に架けられた時の肉体のように。

　しかし、それは十字架上の人は真の痛みを体験するのでしょうか？

前に述べましたが、スピリチュアルなヒーラーは苦しんでいる人の苦しみの十分の一を背負い、残りの十分の九は純粋なアガピが背負います；再びロゴスが来て、そのヒーラーを残りの10分の九から解放します；つまり、そのヒーラーには100分の1が残されます；最初は10分の１が肉体に行き、そして再び内側からのLifeのスパークが残りを受け取り、それが起きる時にその10分の１から再びスパークがやってきて、再び10分の9を受け取ります。

　誰が痛みを背負うのでしょうか？ロゴスはどこにいますか？ロゴスは全ての人の内側にいて、その痛みは主が背負う痛みです。それはLifeの痛みです。これを説明する言葉はありません、アガピは痛みであり、痛みはアガピなのです；なぜなら痛みなしでは誰もLifeからより多くを表現するべく前に進むことができないからです。イエスキリスト・ロゴスは十字架の上で痛みを感じていたと思いますか？どの痛みでしょうか？主自身の痛みですか？違います。彼は原因・結果の法則の結果を経験している他の全ての人間の痛みを背負ったのです。それは主のアガピからの痛みで、それは最も強い痛みであり、いかなる人間もその成長のプロセスにいる間にそれを経験することはできません。

　ですから、14芒星は今や私たちの状態の中にあるのではなく、頭の上にあります。今やそれはその特定の自己実現した現在のパーソナリティーに対してLifeそれ自身から与えられた名誉を意味します。

　私たちはさらに原因・結果の法則とアガピの関係を見ていきます。そしてそれが人間に関してどのように働くかを見ます。

私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかにいます。

Q：あなたは最悪の痛みをイエス・キリストが引き受けたと言いましたが、それはその痛みは人類にとってあまりに重すぎたということですか？

K：もし原因・結果の法則だけが存在して、そこに神の慈悲およびそれらの痛みを背負うことによって痛みを軽減する能力がなかったなら、人類はそれに耐えることができなかったでしょう。

　ですからもし原因・結果の法則だけがあったなら、人間が前に進んで行くことは簡単ではなかったでしょう。それは不可能だったでしょう；しかし、勿論、彼（＊イエスキリスト）は原因・結果の法則を脇にどけたわけではありません。結局、原因・結果の法則はどこから来るのでしょうか？アガピ、Lifeそれ自身からです。

　彼はその出来事を変えませんでしたが、そのことを前もって知っていました。もしイエスが原因・結果の法則を避けたなら、彼らの無知の結果として痛みのなかにいてその結果を経験していた人間たちは、その痛みの中に置き去りにされたことでしょう。

　そして「彼」でさえ彼の愛する人々に痛みをもたらす結果となり、出来事を変えなかったことによって彼に従った人々は彼自身に対して疑いを抱くようになったことでしょう。

　その目的は何だったのでしょう？それは適切なレッスンを与えることです、それによって彼が実存、二元性の諸世界の波動の中にやって来て、彼自身を現した真の目的について人間が幻想をもたないようにです。また原因・結果の法則を私たちに気づかせるために。また彼が人間に与えようとした他の多くのメッセージを与えるために。

Q：慈悲は原因結果の法則から来るのですか、それとも一つの法則から来るのですか？

K：Life、真理およびアガピの神の現れから、及び神の思いやりからです。それらはディバインの2つの現れであり、それらは不可視のヘルパーおよび霊的なヒーラーによって表現されます。

Page4

それらは義務ではなく、アガピの結果としての職務です。最初の職務は、より高いレベルの気づきを現すために努力する用意ができている同胞の人間たちを教え、助けることです。それによってそのような人々は他の人々に対してより役立つ人間となり、アガピ、真理、Lifeの道に入ることができるようになります。もう一つは神の慈悲の奉仕者となることです。

Q：その痛みとは何かを理解したいのですが？

K：人間は成長の道を歩みながらも痛みを経験しています。それは意味ですが、しかしLife、アガピ、真のアガピの痛みは意味ではありません。それはアガピです。それは人間の理解を遙かに超えたものであり、それを表現する言葉はありません、それは火であり、燃えます。

　その影はエロティズムの高次のレベルで現されます。アガピは現れの波動の中にあるものではないと言いました。自己実現した現在のパーソナリティーは現れの波動のなかにその波動を下げても、彼または彼女のエロティズムは成長の途上にある人々が現すエロティズムとは違います。そこにはアガピの質があります。それは感情、願い、願望、成長の途上にある人々の願望によって駆り立てられたものではありません。

　私たちはそれでもアガピという言葉を使いますが、しかしアガピはこの世界の波動のなかにあるものではないということを理解すべきです。

Q：それではエロティズムとは反対のものに魅惑されるものとの違いは何ですか；あなたが何かに魅惑される時、そこにはあなたをその何かに引っ張る磁力的なものがあります。

K：何がエロ ティズムの原因となり、あなたは誰かまたは何かに引かれるのですか？その動機は何でしょうか？その原因は何ですか？

Q：願望ではないでしょうか？

K：その願望の原因はどこから来ますか？それはエゴです。あなたが何かを欲し、それに対してエロティズムを現し、またはそれを自分のものにしようと願いますが、その目的が何であれ動機は同じです。

しかし、あなたがアガピを現す時、そこには動機はありません。それがエロティズムとアガピの違いです。エロティズムにおいては、あなたは何かを欲しますが、その動機はアガピのように純粋なものではありません。実際、アガピの背後には動機はありません。それはアガピの真の現れであり、全てのもの、全ての人を等しく抱きしめます。

　ただ一つの違いがあります。あなたが波動を下げて人々を助けようとします。そうです、あなたにはある同胞の人間に対する義務があります、現在のパーソナリティーがより高い気づきを現し、他の同胞の人間に対してより役立つ人間になるように助ける義務があります。最愛のお方（＊イエスキリスト）が弟子に対して行ったように。

　彼（＊イエス）は全ての人間に対して等しく自らを現していましたが、彼は誰が同胞の人間達に対して役立つ人間となるために成長する用意ができているかを知っていたのです。そのような人に対しては別の仕方で抱きしめたのです。そうです、そのようなアガピ、より大きな抱擁が起きようとしています。その目的のためにLifeが送った自己実現した人間達によって起きるのです。

　人間がある環境、ある家族のなか、ある特定の社会に生まれ、助けてくれる人を見いだすということがただの偶然だと思いますか？いいですか、もし助ける人が送られるなら、法則は相手には用意が出来ていると決断したのです。そして誰かが送られるのですが、彼らの間には非常に多くの転生を通じてつながりがあるのです。どれだけ多くかは誰もわかりません。

Q：それではどのようにして私はLifeを理解したら良いでしょうか？Lifeはあらゆる所にあり、私たちはその中にいます。ですから正確に言うと何ですか？

K：Lifeと言う時、Lifeの中でと言うとき、Lifeは最大であり、最小でもあり得ます。私たちがLifeという時、Lifeの概念のなかの特別なモナドを考えなければ、それはLifeからの何でも意味することができます；それがLifeです。それは全てのなかの全てです。それが実際に聖パウロが述べたことです；全ては全てのなかにあり、ある一つの中にあるのではない。ですから、Lifeはこれまたはあれを行うと言う時、それは最小から、モナドセルフとしての現在のパーソナリティーの中にあるLifeのスパークからかもしれません。あるいはアウタルキーにある絶対存在からかもしれません。

Page5

多くのレッスンで言いました…質は同じであり、Lifeの最小のスパークでさえその本質を完全に現す神であり得ると。それを理解する必要があります。Lifeは全ての原因であり、全てはLifeの中にあります；それがLifeです。もし誰かがこのリアリティーにアプローチできるとしたら、言葉はまったく必要としません。全ての原因であるもの、すべてのなかの最大のもの、あらゆる人間の理解を越えているものを言葉で定義できると思いますか？

Q：しかし、私たちのレベルでは、それを理解し、把握するためには言葉によって定義される必要があります。

K：しかし、私たちはレッスンのなかで長年、それを可能な限り定義してきました。ですから、そのリアリティーにアプローチするために意味を用いて定義することは不可能です。それは神の黙想の結果であると言いました。しかし、誰が神の黙想を現しているのでしょうか？それは全体としての絶対存在、あるいはLifeそれ自体のスパークかもしれません。それがLifeのスパークが現しているものです：ディバインの黙想とブレーシス（＊神、ディバインの意図）、それ以外の何ものでもありません。

　理解のために言いますが、Lifeのスパークと言う言葉は最小から最大までを意味します。そしてこのLifeのスパークは全てのもの、全ての人間、全てを活性化（＊エネルギーを与える）するLifeの海から来ます。人間あるいは他のLifeの現象だけでなく、私たちが固形物と見なすものも含まれます。なぜなら、全てのなかには動き、振動、波動があるからです；そしてこれはこれらのリアリティーにアプローチできる誰かが述べたのではなく、研究の結果として科学さえもそのように述べています。ですからそれが真実です。

Q：現在のパーソナリティーを越えた､エロティズムを越えた純粋なアガピに戻ることができますか？アガピの様々なステージ、そして導かれた教えに？

Ｋ：あなたは導かれます：誰かが準備できた状態になると、誰かが現れます。あるパーソナリティーがその誰かを見いだすということは偶然ではありません。そしても勿論、その反対も。助け、導き、道を教えるということは彼または彼女にとっての義務なのです。彼（＊イエス）は教えていました、そして彼に従った人もまた教え続けました、これがずっと続くのです。このような義務はLifeの本質のなかにあります。それが最愛のお方が

**「人は自分自身に愛を現す必要があり、それによって他の人々にアガピを現すことができるようになります」**と述べたステートです。

あなたが誰かに対してより近くなり、より高いレベルのエロティズムを現し、もしそれが相互的なものであれば、それは数回の転生を通じて続くことでしょう。

Q：それは（＊その人達の関係）助ける必要がある限り続くのですか？そしてそれは最終的にはどうなるのでしょうか？

K：目的ですか？目的は人間が助けられることです。2人の人が一緒にいて、助けあって互いにアガピを表現すると、法則はそれに対していかなる障害ももたらしません。反対に、一般に罰を与えると考えられている原因結果の法則は、彼らが多くのアガピ、多くのエロティズムを表現できるように助けるのです。必要な経験を経て先に進んで行くことができるように。

Q：それは自己実現まで続くのですか？

K：違います、永遠に続くという意味ではありません。例えば2人または5人の人間があるレベルに到達し、経験を経ると、それは自分達またはより大きなグループにとって助けとなります。すると彼らは別の場所に行くかもしれません。彼らが永遠に一緒にいるということではありません。他の人々、グループと出会い、そして様々な転生を通じて一緒に他の経験をするのです。ですからLifeはLifeであり、全てはLifeのなかにあるのです。

　これがLifeはアガピであるという意味です。しかし、彼（＊イエス）の近くにいた人々のなかで、どれだけ多くの人がこの世界において本当に彼の目的と役目を理解したでしょうか？彼にもっとも近い人々のなかでさえも。

Q：原因結果の法則に対する説明には感謝しますが、しかし私の質問はなぜ彼（＊イエス）は終わらせて、完全に変化させなかったのか、ということです。

K：なぜ？あなたは知らないのですか？私たちはそれら全てを見ていきます、終わったわけではありません。実際、もしあなたが座り、深く内側を見つめればわかることでしょう。なぜ自分を見ていくのですか？なぜなら、自分自身を知るためです。イエスがこの世界に何をするために来たのかがわかり始めるでしょう。非常に深い内省、瞑想を行います。いいですか、なぜ彼がこの世界に来たのか、なぜその出来事を止めなかったのか、なぜそれら全ての結果が起きたのか、なぜ愛する人々が痛みその他を経験したのか、などがわかることでしょう。それら全ては象徴的であり、人間、人類と共にあるのです。

Page6

Q：私たちは常にイエスは私たちに教えるために来たのだと思っていました。ですからあなたが最初に述べたヒーリング等については考えたこともありませんでした。私たちは常に教えについて考えていました。そうですイエスが真理、道を示すために来た…ということなどです。

K：ヒーリングとは何でしょうか？ヒーリングのパワーとは何でしょうか？それはヒーリングのパワーとは彼の（＊イエス）本質ではないでしょうか？Lifeの本質が癒すのではないでしょうか？私たちが汚れた水を純粋な水に変える波動を少し低くめても、あるいは汚れた水に触れる太陽の光、それも抱擁ではないでしょうか；それは愛であり、それがアガピです。いいですか、太陽からの光は水に触れても汚れません。それがアガピです。全ての人を等しく抱きしめます。あなたのアガピを与え、癒します。そのヒーリングが肉体的な痛み、傷であろうと、サイコノエティカル体の痛みであろうと、あるいは現れとしての思考・行動に仕方に関するものであろうとも。これら全てはアガピによる抱擁によって助けられます。

　誰かがイエスの名においてヒーリングを行うとき、誰がヒーリングを行っているのでしょうか？なぜなら私たちはいつも述べきました、癒しは彼の名において行われると。癒しを行うのは彼です。彼とは何でしょうか？それはアガピです。

　いずれにしても、Lifeにアプローチするのは簡単ではありません。Lifeに関する哲学は終わりのないプロセスです､勿論人間が絶対アガピの部分になるまでは。いくつかのレッスンで述べたように、自己実現した現在のパーソナリティーでさえ経験を経るのでしょうか、あるいは転生から何らかの恩恵を受け取るのでしょうか？

　自己実現したパーソナリティーは自分自身の成長のためには経験は必要ありませんが、しかしその経験が他の同胞の人間達に対して非常に重要なものを与えるか否かと言えば、答えはイエスです。

　時間・空間の中の動きのなかで受け取った全ての経験は、他の同胞の人間たちに与えるという新しい本の中に記録されます。他の同胞の人間たちが助けることにフォーカスしたということも助けになります。

　ですから恩恵、もっと与えることができるということについては、答えはイエスです。各人は現在のパーソナリティーとして、様々な経験の結果としてその人自身の個人性があります。この諸宇宙のなかであなたとまったく同じ経験をしてきた人を見いだすことはありません。しかし、似たような経験をした人にあなたは同調し、似たようなケースを助けることができます。

　異なった経験の知識は終わりがありません。いかなる自己実現した現在のパーソナリティーも経験、その詳細に関して全てを知っていると言える人はいません。同じ事は存在の諸世界についても、実存の諸世界についても同じです。

EREVNA PYR 27/KE05/05/1/01